

授業科目名	基礎演習（文章表現）(2000092)		
時間割名	基礎演習（文章表現）(43203)		
時間割担当	服部温子		
実施期	後期	単位数	1 必修
曜日・時限	木・3		

授業の目標・概要

本講義は、大学生活4年間のみならず、社会人となっても必要不可欠な技能である文章表現力を習得することを目的としている。そのために、事実や自分の思考を正確、平明、簡潔に表すための、論理的な文章作成法について学ぶ。具体的には、論文・レポート執筆における、問いの立て方、論文・レポートの構成、論理的な推論、パラグラフ・ライティング、接続表現等について、演習を通じて学習する。

学習の到達目標

1. 主観的な表現を避け、誤解のない文章を書くことができる
2. 根拠を示しながら自分の意見を伝えることができる
3. 自分の意見と他人の意見を明確にわけることができる
4. 自分の意見を論理的な構成で示すことができる
5. ルールに則って学術的なレポートや論文を作成することができる

授業方法・形式

講義および演習形式で行う。作文演習の際には授業内で原稿用紙1～3枚程度の作文を完成させて提出してもらう。作文は添削の上で返却する。講義形式の授業の際にも、理解を助けるための練習問題やグループワークを適宜取り入れながら行うので、積極的な参加を求める。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション / 文章表現のための基礎知識
- 第2回 作文演習 自己紹介文を書く
- 第3回 アカデミック・ライティングとは何か
- 第4回 引用・要約のルール
- 第5回 作文演習 新聞記事を読んで自分の意見を書く
- 第6回 主観的な文章と客観的な文章 / 根拠を示しながら書く
- 第7回 3部構成で書く / 問題提起する
- 第8回 作文演習 複数の新聞記事を読んで自分の意見を書く
- 第9回 パラグラフを意識して書く / 接続詞を的確に使う
- 第10回 反論を想定しながら書く
- 第11回 作文演習 複数の資料を読んで自分の意見を書く
- 第12回 レポート作成の手順
- 第13回 推敲の重要性 / 提出時の注意点
- 第14回 作文演習 各自の関心のあるテーマで自分の意見を書く
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

作文演習 70%
練習問題・グループワーク 30%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

講義終了後に講義内容を復習すること
返却された作文はよく見直し、次回の作文に生かす方法を考えること

履修上のアドバイス及び留意点

私語を慎む、携帯電話・スマートフォンを使用しないなど、基本的な受講マナーは守ってください

教材・教科書

毎回プリントを配布する

参考書

授業内で適宜紹介する